

法団法人神戸FCだより

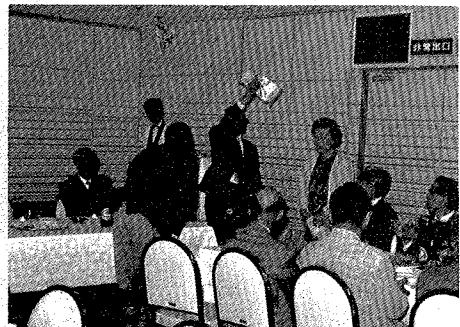
育成協だより

☆総会開催

5月10日夜三宮の国際会館で、昭和50年度の総会を開き49年度の事業報告と決算、50年度の事業計画と予算（総額1332万円）を審議可決した。50年度は新たにユース年令層（15～18歳）を別に重点的に育成することとなり、幼稚園児から中学生成までの神戸少年スクール、少年部（14歳以下）青年部（15～18歳）成人部（19歳以上）OB部（30歳以上）と整い、年令の如何を問わずサッカーを楽しみたい方、技術の向上を目指す方等種々の希望に応ぜられる態勢ができた。

☆OBチーム熊本遠征

4月26・27日西日本OBサッカー連盟主催熊本大会（Aグループ、年令42歳以上平均年令50歳以上）に参加した神戸FCOBチームとオープングームで熊本ドクターと対戦する神戸FCドクターチームは新幹線と空路の2組に分れて熊本を訪問、26日の前夜祭から参加した。前夜祭ではOB連盟加盟16チーム中70歳代会員伊賀上野の桃井俊一良氏に加藤正信連盟理事長から銀バッジ贈呈があり、これで連盟の銀バッジ組は神戸の玉井操・刈谷の三浦豊両氏と合わせ3名となった。NHKスタジオ102は早速5月7日、伊賀上野城をバックに桃井氏の率いるOBチームと少年チームの早朝練習を取り上げ放映した。桃井氏は画面ではいついて銀バッジの由来を説明、そして一句あり、ボール蹴る若葉のかなたお城見ゆ



老いてますます意気盛んな西日本OB連盟のメンバーを代表して元気なプレー振りを画面で披露し、視聴者の拍手が聞えてくるような場面だった。

桃井氏は熊本でも勿論伊賀上野のメンバーで出場、京都、松山、神戸、名古屋、熊本の初老（と書くと出場選手から叱られそう）の方々とともにゲームを楽しんだ。63歳の加藤連盟理事長も神戸FC・FBとして3試合に出場、大きなお腹を気にせず70分間走り抜き「まだまだ丈夫」と張り切っていた。

☆兵庫県サッカースポーツ少年団指導者リーダー養成研修会

昨年3月3日誕生した兵庫県サッカースポーツ少年団育成協議会は、5月3日4日、神戸市御崎中央球技場で昨年に引き続き2回目のリーダー養成と指導者研修会を催した。

県下各地から集まつたのは人物技術優秀で将来性ある小学6年生150名と指導者40名で、5月3日10時から開講式を行い、団員はAB2班に分れ、少年サッカー場とメインスタンンド内会議室を交互に使用し、講師に神戸FC職員の黒田和生・加藤寛二氏を迎えて研修を行った。90分単位で基本技術戦術指導と講義を交互に繰返した。

育成協加藤正信幹事長、神戸市協会一北四郎理事長を講師とする第一分科会指導者の部は、メインスタンンド会議室で「団育成上の問題点」「技術指導上の問題点」について講義と討論を行った。「小学生から中学生にかけて団活動を継続させるには…」「傷害問題」「サッカー未経験者の指導法講習会」「優秀リーダー候補者の技術を更に向上させる方策」等について活発な意見が交わされた。

第1日夜 宿舎神戸市立旅行会館で団員は映画「日韓戦」を見ながら勉強、指導者は別項懇親会に引き続き懇談会を開催、ここでも「少年サッカーの普及は先づ指導者育成から」が再認された。兵庫県協会の計画するリーダー（ここでは指導者の意味）講習会で養成する指導者の少數精銳主義よりも技術水準は低くても少年を対象とする指導法を習得した大量の指導者養成が目下の急務であることを話し合い、列席した県協会牛尾伸少年委員長一北四郎技術委員の善処を要望した。

第2日目の5月4日、少年サッカー場は先づ先づのコンディションで、集まつた団員の中から更に優秀選手を2チーム選び、午前中にAB班対抗模範試合を行つた。さすが県下から取り組んだ結果、全員個人技は満点近く、見ごたえのあるゲームを展開した。午後は希望する地域同志が交歓試合を行い、予定通り午後3時閉講式を行つて解散した。

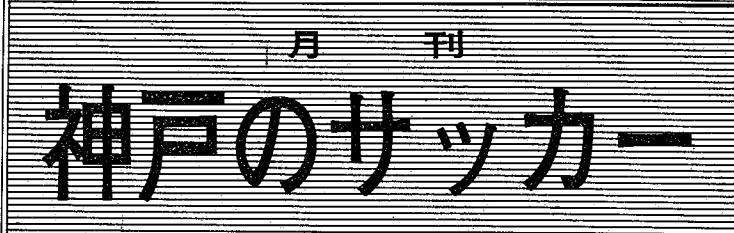


昭和50年度神戸市サッカー協会社会人チーム(8)

1部 (8)	
戸 F C (A) フ	神 G R & A (A) フ
川 K 岸 E 鉄 工 (A) フ	川 K 岸 E 鉄 工 (A) フ
川 K 岸 E 鉄 工 (A) フ	川 K 岸 E 鉄 工 (A) フ
大 合 同 ク 好 ラ (A) フ	大 合 同 ク 好 ラ (A) フ
神 萩 兵	神 萩 兵
西 リ 一 グ	西 リ 一 グ
三 菱 重 工 (A)	三 菱 重 工 (A)

2部 (20)	
戸 F C (A) フ	神 G R & A (A) フ
川 K 岸 E 鉄 工 (A) フ	川 K 岸 E 鉄 工 (A) フ
大 合 同 ク 好 ラ (A) フ	大 合 同 ク 好 ラ (A) フ
神 萩 兵	神 萩 兵
西 リ 一 グ	西 リ 一 グ
三 菱 重 工 (A)	三 菱 重 工 (A)

3部 (53)	
A 三光神蘭会白兵ビ山	菱電機安閑Cブ
B 戸庄山	税Fラ
C 下總庫本	下總庫本
D 神西摩灘大	神西摩灘大
E 魚電Yア大	魚電Yア大
F 三川海神川	三川海神川
G 住友電	住友電
H 釜石	釜石
I 朝日	朝日
J 三井	三井
K 通運	通運
L 佐野	佐野
M 三井	三井
N 通運	通運
O 佐野	佐野
P 佐野	佐野
Q 佐野	佐野
R 佐野	佐野
S 佐野	佐野
T 佐野	佐野
U 佐野	佐野
V 佐野	佐野
W 佐野	佐野
X 佐野	佐野
Y 佐野	佐野
Z 佐野	佐野



6月号

発行所
神戸市サッカー協会
神戸市灘区上野通6丁目3-12
TEL (078) 861-3838
発行人 加藤正豊
編集人 辻達
購売料 1部 20円
毎月1回 10日発行



新会長の河本春男氏

若返り人事成る

—神戸市サッカー協会—

神戸市サッカー協会の新会長に、河本春男氏（64）の就任が4月19日、正式に決まった。3年にわたる玉井会長から引き継いだ河本新体制は、神戸市民が気軽にサッカーを楽しめること、施設、環境づくりの2大事業に取り組むことになった。

市協会は4月19日、常務理事会に続き、午後6時すぎから三宮国際会館5階ホールにて、総会を開き役員の改選を行った。

まず、玉井会長、北川、二宮両副会長、それに加藤理事長が正式に辞任のあいさつをしたあと、後任会長に河本氏を推挙し、満場一致で承認。さらに、河本新会長が、玉井氏、加藤、西邑両氏それに北川氏をそれぞれ名誉会長、副会長、顧問に推し、承認された。また、理事長には若い一北四郎が決まった。

その後、すでに内定していた社会人、大学高校、中学、少年担当者の中から計22人の新理事を正式に選出した。さらに、新会長の推薦による理事10人を承認した。一北理事長をはじめ、各専門委員長や理事は大幅に若返った。

役員は別表のとおり。

会長との一問一答

河本春男協会会長は、新任の抱負や協会のあり方などについて「神戸市民が気軽にサッカーが楽しめるることを基本的な目標とする」と力説し、「グランド等の施設や環境の整備をはかる必要がある」と述べた。

一問一答は次のとおり。

—新会長としての抱負は何か。

サッカーの市民化をはかりたい。今年の新年号の新聞に、玉井前会長が述べられていましたように、町内対抗の試合が各地で行われ、それに市民の方々が熱中するようなふん囲気をつくりたい。

—運営していく上にあたっての方針は?

身近にできることからひとつずつやっていく。たとえば、さきに述べた町内対抗の試合にしても、各町内にチームができるのを待つではなく、現存するチーム同士でまず試合を行い、それを他の地区に少しづつ広めたい。

—事業を進めるうでの課題は何か。

施設や環境の整備拡充と、それを支える財政の確立だ。市民サッカーの振興という立派な理想だが、充実した事業を行うためには予算が必要だ。現在のように、会員の会費だけでは、事業も限られてくる。公金の助成が得られるよう法人化も考えていかなければならぬ。

—副会長、理事長をはじめ多くの専門委員の協力も必要だと思うが…。

もちろんそうだ。幸いなことに、神戸市には有能な方が大勢おられるので心強い。そういう方々には、単に定例業務に追われるだけでなく、長期ビジョンについて各人がもっている貴重な意見を、どしどし発表してもらう機会をつくる。

神戸市サッカー協会（役員名簿）昭和50年4月19日現在

名譽会長	玉井 操	常務理事	辻 達義	理 事	定森 豊	規明
副会長	河本 春雄	高橋 敏雄	岡本 隆英	理 事	皆瀬 吉一	
"	加藤 正信	西邑 昌二	岡本 隆英	"	鳴瀬 良一	
"	"	"	"	"	岩崎 庄光	
監事	西宮 運次	理 事	蓮池 義寿	(組織)一委員会と委員長	大江 利郎	
理事長	吉村 喜代治	"	"	大河 利郎	岡本 隆英	
常務理事	一北 四郎	"	"	八木 寛文	中村 寿男	
"	中村 寿男	"	"	萩野 清	萩野 幸夫	
"	道行 伸明	"	"	吉井 宏一郎	田上 由雄	
"	"	"	"	白石 寿	正明	
"	"	"	"	大谷 新一郎	吉村 昭久	
"	"	"	"	白石 幸夫	辻 達也	
"	"	"	"	安達 功	中村 伸	
"	"	"	"	竹田 泰規	中村 伸	
"	"	"	"	富松 昇	中村 伸	
"	"	"	"	加藤 宽	中村 伸	
"	"	"	"	五島 淳郎	中尾 守	
"	"	"	"	一北保 五郎	昭美 德	

謹んで皆様方のご健勝を心からお慶び申し上げます。不肖私は、玉井前会長のあとをうけて会長に推されましたことを、光栄に存じかつその重責に、身の引き締まる思いを禁じ得ません。

戦前の神戸は、日本を代表するサッカー王国でした。戦後、大学リーグの復活や、東京オリンピックを契機として、日本リーグが生まれ、日本のサッカーが国際的レベルに到達いたしますと、これに呼応して、静岡、埼玉、広島など伝統をもつ地方を中心として、サッカー人口は急激に増加し、その普及ぶりは目を奪うばかりであります。神戸におきましても、10年も前から、玉井前会長や加藤前理事長を中心に多くの幹部の方々の献身的な努力により、今日では少年から青年、壮年、老年の各層にわたる幅広い事業が、年間を通じて行われ、神戸市民の体力向上を明るい社会人の育成に、多大な成果をあげております。今やこのように広範な事業を進めているサッカー協会は、他にあるまいと確信しております。

かかる光輝ある協会の会長として、その重責を背負います私は、微力でございますが、日本サッカー界の一翼をになない、かつてのサッカー王国、神戸の姿を再び現実のものにしないと心に期して、皆様方のご支援と一層のご活躍をお願いする次第です。

諸先輩のご努力により、御崎に国際サッカー場が実現し、多くの国際試合が見られるようになりました。「手近な所にグランドがほしい！」これはサッカーマンが等しく希求するところでありましょう。自由に使うことのできるグランドを皆様方のご支援を得て、ぜひとも整備したいものでございます。

今年は7月には、5大市大会が神戸で行われますし、また中国天津市の青少年チームを招く予定にもなっておりまして、多彩な行事が組まれています。

世界のサッカーは、ご承知のとおり熱狂的でございます。神戸市が全国に先がけて、玉井前会長のご抱負である町単位の対抗戦を全市域に広め、これに市民がわくといった光景を一日も早く実現したいものであります。簡単ではございますが、皆様方のご支援とご指導をお願い申し上げ、ごあいさつをいたします。



抱負を語る新役員

一北四郎

いて、神戸市のサッカー発展と楽しくサッカーがやれる環境を作りたいと思ひます。

これからサッカー協会の事業の基本となるような目標をあげて見ます。

一、競技の円滑で厳正な運営
二、少年サッカーの育成
三、指導者・審判員の養成と研修
四、サッカーグランドの確保と整備
五、サッカーニュースの発行

これら5項目を達成するために協会役員をはじめ会員の皆様の御支援と協力をお願いします。

御承知のように神戸のサッカーは、戦前には日本のリーダとして全日本チームのメンバーの半数以上を神戸出身が占めるほどにサッカー王国の名を高めました。

しかし最近は、どうも意気がありません。これを何とか昔のように神戸のサッカーを日本のトップレベルにする上にあげた目標を実現することが大切なのです。

少年サッカーの育成も、ただ試合をやればよいと言ふものではありません。

事務処理能力にすぐれていないので、総務委員長がこなせるかどうか心配です。

以前は、加藤先生が重要事項を解決させておられたので、私は雑用的な仕事をしましたが、加藤先生が理事から副会長になられた今は、どんな大きな負担がないのかなって思っています。

昭和45年、神戸中央球技場における五大都市大会で、劇的な優勝をとげたのを最後に、技術部から遠ざかっていましたが、5年ぶりに技術担当を仰せつかり、奇しくも今年は神戸で五大都市大会が行われることになっており、何か因縁めいたものを感じながら、仕事の重大さを痛感している次第です。

5年の間、雑用をやって参りましたが、いかほどお役に立ったかは、はなはだ疑問でございます。心機一転、微力ながらベストを尽す覚悟です。

サッカーを始めて28年。神戸でお世話になった私としては、ご恩の万能の一でもお役に立てればと思っています。

サッカーに対する情熱は、人後に落ちることなしと自負しております。一生懸命がんばる所存です。

これまで市や県で仕事をややきて感じることは、審判に関する問題が多いということです。審判の技術、審判に対する選手側の意識、割り当て消化、ルール解釈などトラブルはつきません。

市協会には、250人以上の審判員が、登



総務委員長 岡本隆英

技術委員長 前野正

審判委員長 道行伸明



総務委員長 中村久

医事委員長 皆木吉泰

導者が、少年の発達に対して正しい理解と、優れた指導理論をもつことが大切です。少年だけでなく、サッカー競技はすべてそうです。激しい動きと鋭い判断力。訓練されたチームプレーがあつてはじめてよいサッカーができるのです。

よいゲームをするためには、競技員、チーム指導者、審判員が、常に進歩、向上を目指す姿勢が必要です。いいかげんな妥協をせず厳正な競技運営こそ欠くことの出来ない条件です。

激しいサッカーをするには、グランドの整備も大切です。その点でもまだ不備な点が多いようです。グランドが少なく大会運営も大変苦労しております。無理をお願いして借用した学校のグランドでは試合後、ゴミがちらかってまで苦情を聞くこともあります。グランドの整備や後始末はサッカーマンの常識です。現在使えるグランドを大切にすることなく、グランドの増設も市当局へお願いします。

メキシコ五輪で日本が銅メダルをとったとき、先生はこれを評して「アメ細工のように頂点を引き伸ばしたにすぎない」といわれ、細くなつて折れそうになつた部分をピラミッド型にするには少年サッカーの普及を、そして中学は小学生を、というふうに言つています。

録しているはずなのに、実際に笛を吹いてくださる方は約15パーセントで、審判員の割り当てには、ずいぶん苦労しているのが現状です。

この問題の解決もさることながら、今までのよう、社会人の試合は社会人で、また学校関係は先生で、といった区別をなくし、その他、委員会の充実、昇級を含めた審判員の養成、審判意識の向上、指導員制度の設置等々、数多くの問題にひとつひとつ取り組んでいきたいと思います。

「試合の善し悪しは、審判に負うところ大なり」

神戸のサッカーも盛んになってきていますが、49年度には選手の替え玉事件が2つもあり、とても残念なりません。

綱紀委員会で、このような処分問題が、議題にのぼらないのが理想の姿なのです。

そして、綱紀委員会は必要なく廃止してもよいという日が、一日も早く来るこことを心から祈つておる次第です。

大幅に若返った役員の中で、相変わらずの古顔で、申しわけありません。役目がら、今しばらくご辛抱願います。

医事の仕事は地味ながら、だんだん増えてきています。幸い、ドクターチームもあり、スタッフには欠きませんから、今後とも皆様の健康管理、疾病予防に何かお役に立ちたいと思います。

Order SPECIAL ORDER SPORT'S WEAR オーダー

- ◎15日間仕上
- ◎一枚より製作
- ◎どのようなデザインでも可能

お気軽にご相談下さい

営業時間 / 10時~19時30分(月曜定休日)
神戸市生田区下山手通6-65丁650番371-0857

専門店 関 正 スポーツ

絶賛発売中

7月号

サッカー専門誌
毎月月末発売

イレブン

主催 兵庫県サッカー協会

少年少女 サッカー 英国教室

(夏休みにサッカー発祥の地イングランドで英語とサッカーを)

○出発日: 昭和50年8月5日~8月19日(15日間)

○参加費用: ¥ 376,000

○コース: 東京→ロンドン→シェフィールド→ロンドン→パリ→東京

○説明会: 昭和50年6月22日(日) 14時より
三宮交通センタービル5F会議室

○詳しい資料請求、申込み、お問い合わせは

○日 通 航 空

〒651 神戸市兵庫区雲井通7丁目4(神戸新聞会館8階)
TEL 078-252-1111(担当: 前田)

加藤正信氏(以下呼び馴れた先生とゆう)呼称を使わせていただき)が理事長をやめられた。副会長として協会にとどまられたことは喜ばしいが、「実践の指揮官としての先生の力がありに大きいため、その辞任を惜しむ声は強い。

理想は高く、それが実現のためには今な

にをすべきか、を実践される先生の言動が

「事業計画が多すぎて現実的でない」

「独

断的でついてゆけない」といった声で非難

されたのは残念だった。これは誤解とい

うよりは、先生の思想を理解できない心の狹

い人なのだと思う。

メキシコ五輪で日本が銅メダルをとった

とき、先生はこれを評して「アメ細工のよ

うに頂点を引き伸ばしたにすぎない」とい

われ、細くなつて折れそうになつた部分を

ピラミッド型にするには少年サッカーの普

及こそ第一であると強調された。

身ぢかに目をむけよう。神戸のサッカー

は弱い、とよく耳にする。その強化に、中

学で高校で大学で、それそれが役割を果た

すのは結構だが、大学は高校を、高校は中

学を、そして中学は小学生を、というふう

にいだらう。

身ぢかに目をむけよう。神戸のサッカーニュースのこと

ですが、これまで第1号からみなみならぬ努力で、このニュースを発行してま

たのだが、この偉大な遺産を、今後はわれ

われの手で守り育ててゆかねばならない。

過日の総会で、人事が刷新された。若返り

り人事ともいわれている。しかし、若いと

いうことは、歳の数が少ないというだけで

判断してもよいだろうか。情熱、そして実

力、これが伴わなければ若いとはいえない

にだろう。

これまで私たち、先生が次々と出され

る事業計画にだまつてついてゆけばよかつ

たのだが、この偉大な遺産を、今後はわれ

われの手で守り育ててゆかねばならない。

これまでのサッカーマンは平等にサッカーマンをたの

じめるようになつている。

これまでのサッカーマンは平等にサッカーマンをたの